ブルース家とテンプル騎士団

イングランド軍、スコットランド軍双方が終日の戦闘で疲れ切っていたとき、新たな援軍の唐突な到来が勝敗の帰趨を決したのである。これによって、イングランド軍がパニックを起こしエドワード王は５００名の騎士を随えてあわてて戦場から逃げ出した。王が逃げるのを見て士気沮喪した歩兵たちも、ただちにそのあとを追いかけた。この退却によってイングランド軍は全軍総崩れになり、糧食、軍事行李、貨幣、金銀の皿、武器、鎧兜、兵装を投げ捨てて逃げ去った。（ｐ１１１）

1329 年にブルースが死去すると、事前の取り決め通り、ブルースの孫で、最初のスチュアート王朝ロバート２世が王位を継承した。死に際してブルースは、自分の心臓を取り出して棺に納め、これをイエルサレムまで運んで聖墳墓教会に埋葬してほしいと遺言した。これを果たすため 1330 年にサー・ジェイムズ・ダグラス、サー・ウイリアム・シンクレア、サー・ウイリアムス・キース、さらに少なくとも２名の騎士たちが加わって聖地に向け出発した。ダグラスは、ブルースの心臓を銀製の小箱に納めて首にかけていた。（ｐ１１６）

ーマイケル・ベイジェント／リチャード・リー共著／林和彦訳
『テンプル騎士団とフリーメーソン／アメリカ建国に至る
西欧秘密結社の知られざる系譜』より。三交社刊